

総点検報告書(素案)に対する委員意見等一覧(自由意見)

資料3

部会 : 学術・人づくり部会

番号	担当課	委員又は 専門委員名	意見(修正文案等)	事務局の考え方等
1	教育庁 生涯学習振興課	仲村専門委員	本県においても市町村の社会教育主事の配置率が低下しているとなっているが、本県の社会教育主事の配置状況と県としての対応について聞きたい。	<p>【配置状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県で社会教育主事を配置している市町村は、41市町村のうち17市町村で、配置率は41.5%となっております。配置義務のある人口1万人以上の市町村については、23市町村のうち15市町村で、配置率は65.2%となっております。(令和元年度) <p>【県の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村教育委員会に対し、社会教育主事の適正な配置について文書にて依頼しております。また、未配置の市町村を訪問し、社会教育主事の役割、必要性を伝え、配置について依頼しているところでもあります。 ・社会教育主事の資格を県内で取得できるよう、社会教育主事講習(沖縄会場)を運営しており、各市町村教育委員会へ講習への職員派遣を依頼するなど、県内の有資格者増に取り組んでおります。
2	教育庁 生涯学習振興課	嘉納専門委員	県立図書館を利用したくても、駐車料金が高く、使いづらい状況があるため、利用者目線での検討をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館のあるモノレール旭橋駅周辺地区は、バスターミナルやモノレール駅に直結し、公共交通機関によるアクセスが充実しており、利用者は様々な手段で来館することが可能な状況にあります。 ・なお、県立図書館は複合施設の付帯施設であるため、駐車場の料金については、建物の管理会社が設定しているところです。 ・現在、図書館利用に際しては、駐車料金を50円割り引き、身障者等、配慮が必要な方については、全額免除を行っているところでもあります。
3	教育庁 文化財課	嘉納専門委員	沖縄戦跡の保存についてはどのような対応をしているのか。	<p>戦争遺跡は、沖縄県の歴史の正しい理解のために欠くことができず、重要なものと考えています。保存に向けては、まず遺跡の存在を知ることが必要であり、沖縄県教育委員会では、県内全域で調査を行い、1,077カ所の戦争遺跡を確認しています。戦争遺跡のうち特に重要なものについては文化財(史跡)指定して保存したいと考えており、現在、県内には、南風原町の「南風原陸軍病院壕」など市町村指定の戦争遺跡が21件あります。</p> <p>沖縄県教育委員会としては、今後も市町村と連携して戦争遺跡の文化財指定を進め、保存に努めてまいります。</p>
4	文化観光スポーツ部 文化振興課	嘉納専門委員	(359頁関連)文化活動を支える人材をどのように活用していくのか、現時点での方策の説明をお聞きしたい。特に、有能な県立芸大の卒業生は、どのような場で自己の文化芸術能力を発揮しているのか、あるいは発揮できていないのか、その実態をお聞きしたい。	<p>県立芸術大学の卒業生は、県内をはじめ、国内、世界においてその専攻分野で活躍しており、これまでも美術展、音楽コンクール、演奏会等において入選及び各種賞の受賞者が多数おります。</p> <p>特に沖縄の伝統に深く結びついている工芸専攻及び琉球芸能専攻においては、作家、創作、公演活動等を通じて、沖縄の伝統工芸・伝統芸能の普及と振興に尽力し、中でも国指定重要無形文化財「組踊」の傳承者に琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コースを卒業した多くの学生が指定され、活躍しています。</p> <p>また、一般企業に就職した卒業生も広告、印刷、ウェブコンテンツ制作、演奏家、音響関係などの専門分野の技術・技能を活かし、多様な分野で活躍しております。</p>